

4 トピック ― 家庭におけるサラダの消費について ―

7月6日は、歌人の俵万智さんの大ヒットした同名の歌集(昭和62年)の刊行が契機となり、『サラダ記念日』とされている。そこで、今回は最近のサラダ消費の特徴を紹介する。

サラダの一人当たりの家計支出額「家計調査」(総務省)の調理食品に分類)を、平成15年と平成25年で比較すると、二人以上世帯、単身世帯ともに大幅に増加している。

また、年齢階層別に見ると、二人以上世帯では、以前より支出額が多い50歳以上で大きく増加している。さらに単身世帯では、支出額が多い59才以下に加えて、60歳以上も大きく増加し、その水準は二人以上世帯の約2倍である。

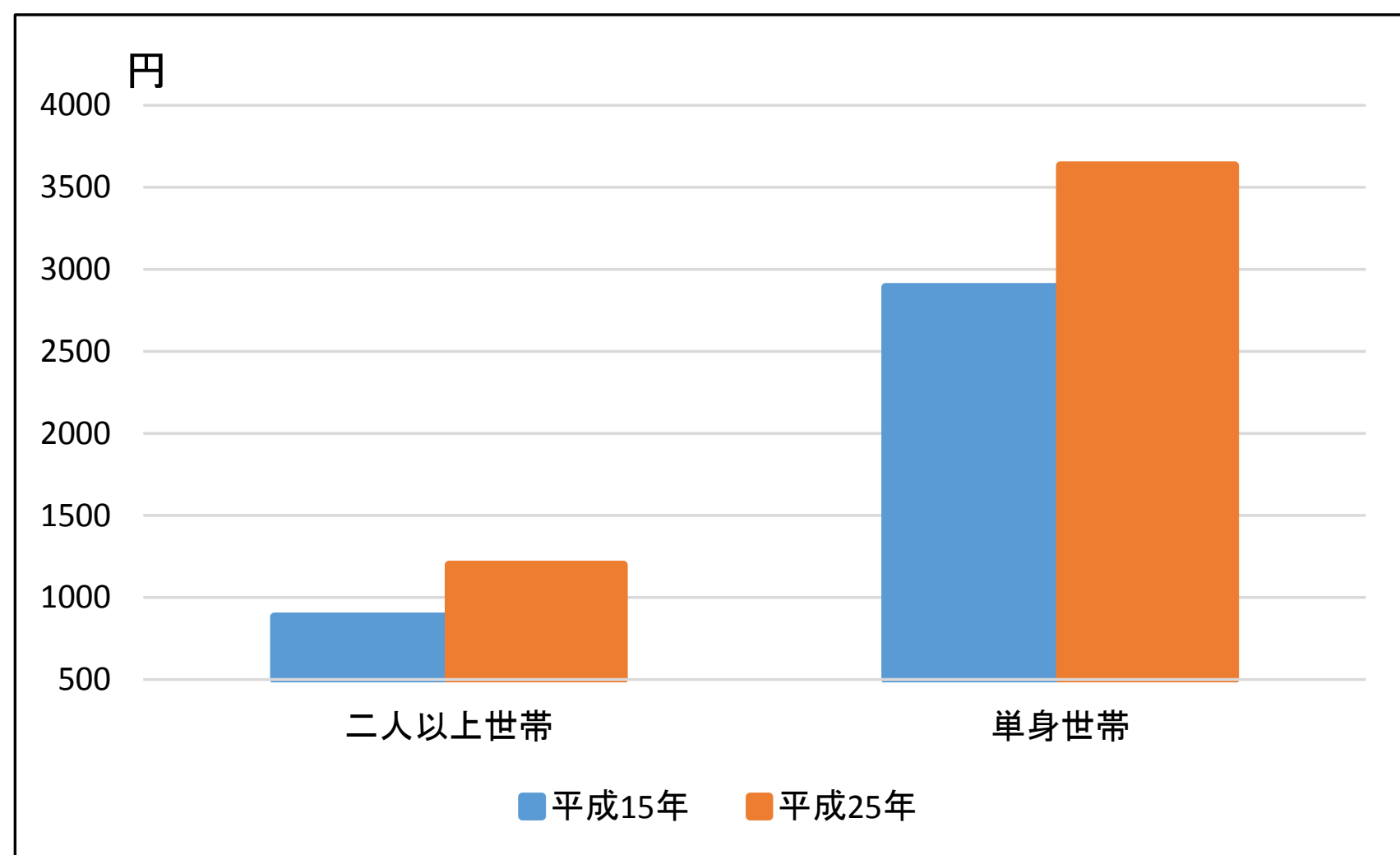
地域別に見ると、関東、近畿等の大都市圏に加えて、北陸、中国、東北等の地方圏でも大きく増加し、全国的な広がりがみられる。

調理食品のサラダにはパスタ、海藻等が主体のものも含むが、野菜主体のサラダや調理用カット野菜についても、当機構のカット野菜小売販売動向調査(平成24年、小売店舗の顧客千人当たりのPOSデータ)によれば、平成21年度から24年度の間に、それぞれ1.6倍、2.2倍に増加している。

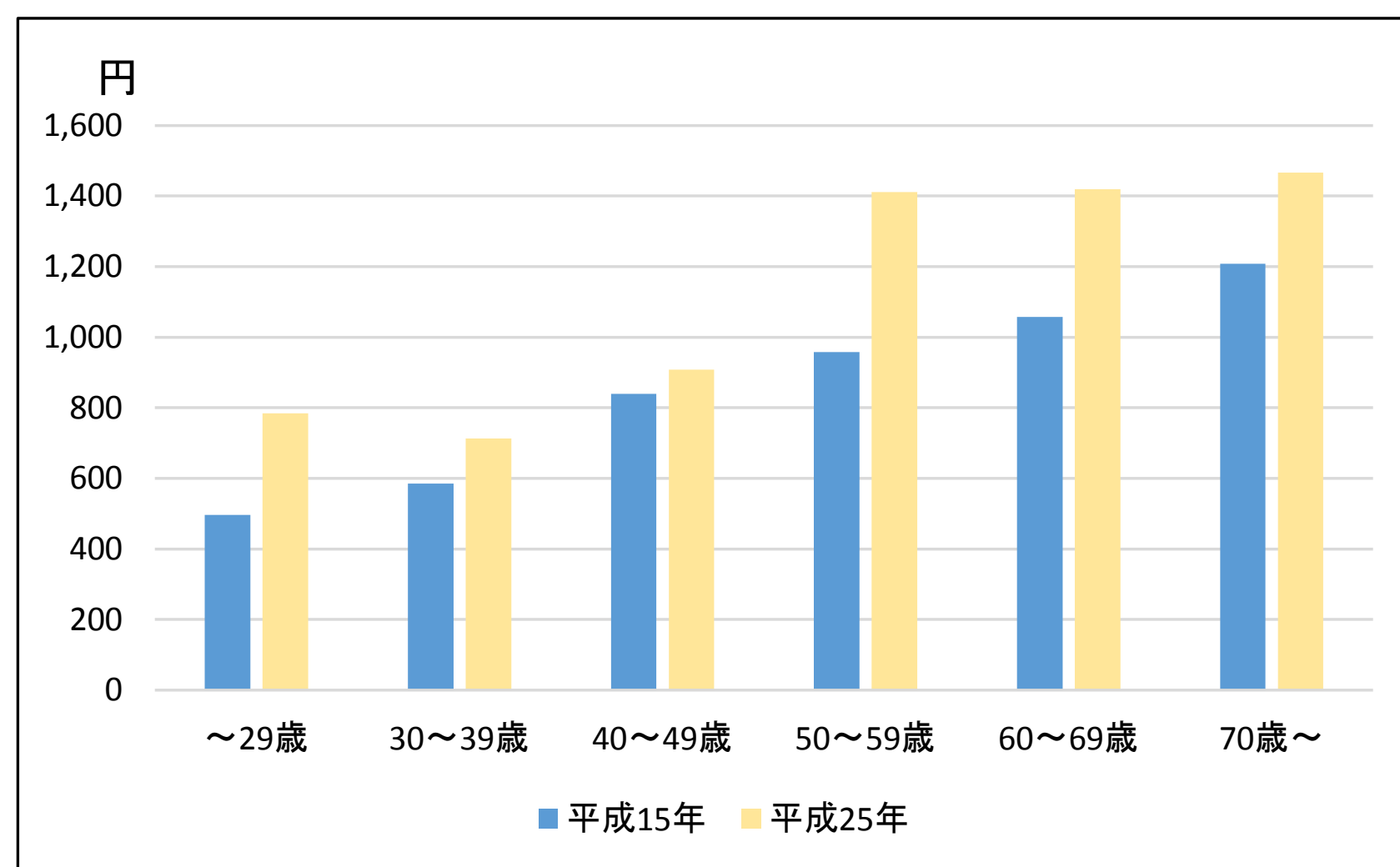
このように、世帯や年齢、地域を問わず、サラダ消費が伸びており、鮮度の良さや美味しさを最大限活かした国産野菜の原料供給体制の強化が待ち望まれている。

※家計調査の「サラダ」とは、商品名にサラダと標記される食品が集計対象である(総務省統計局から聴き取り)。

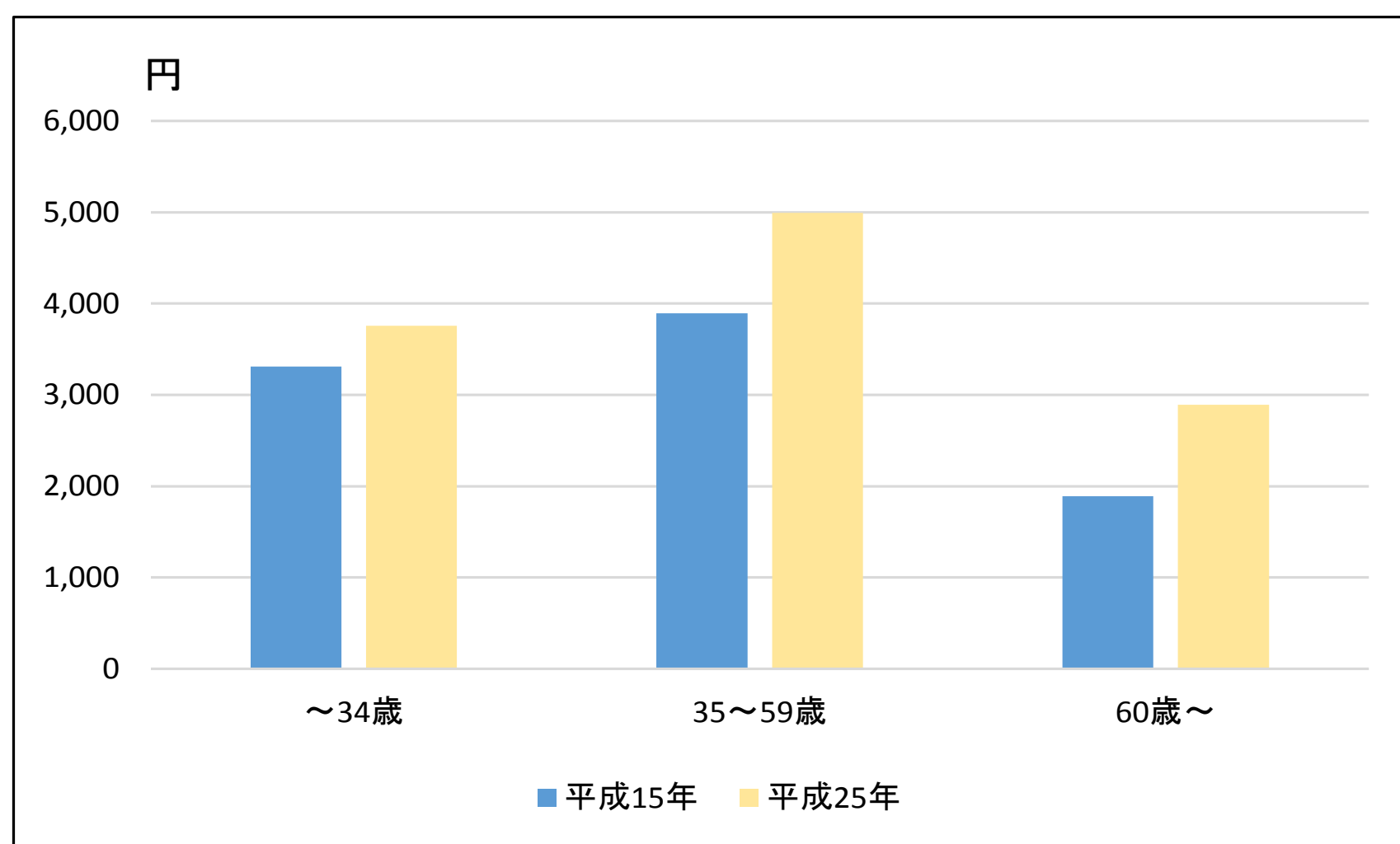
一人当たりのサラダの家計支出額(二人以上世帯、単身世帯)



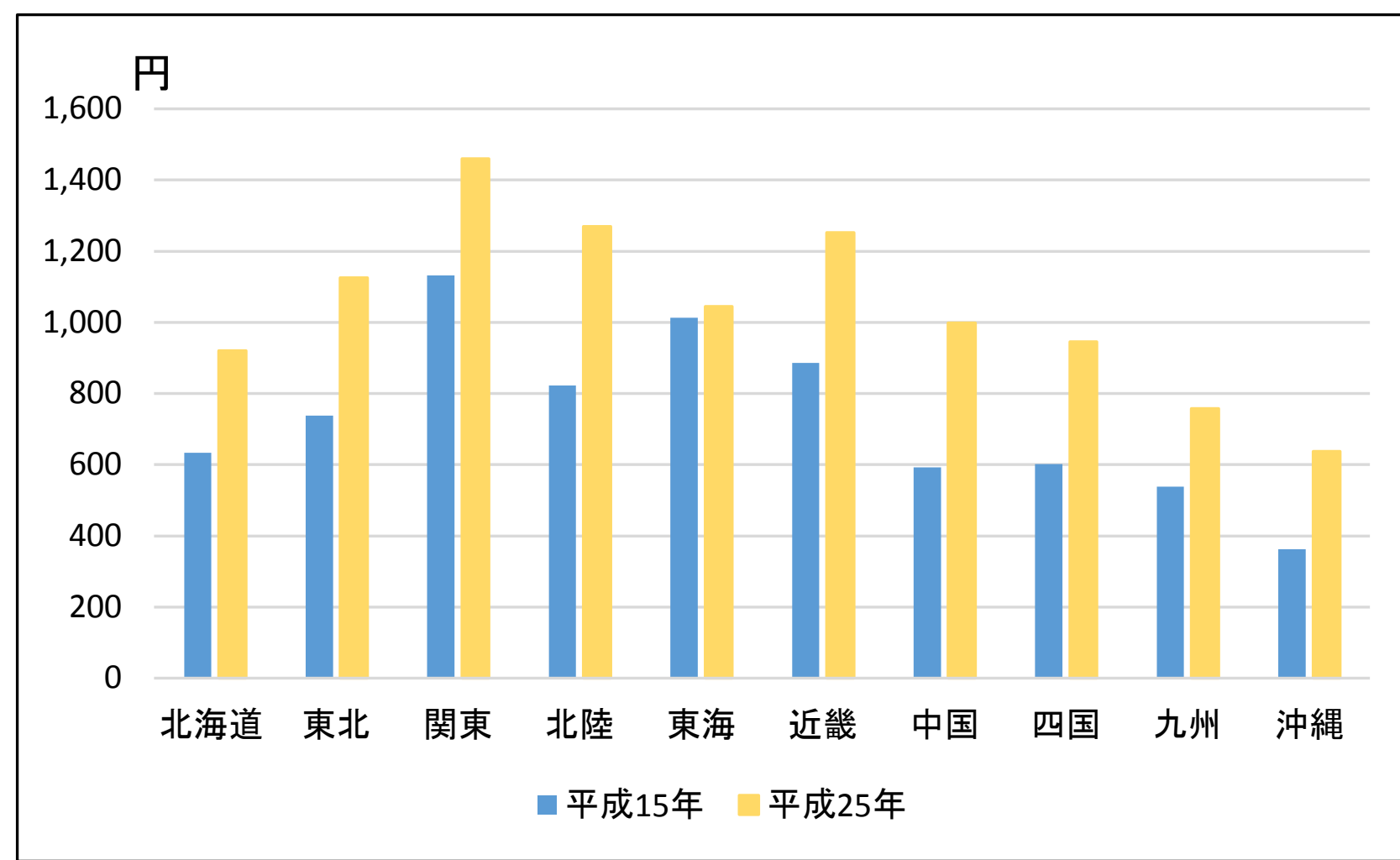
世帯主年齢階層別の一人当たりサラダの家計支出額(二人以上世帯)



単身世帯の年齢階層別の一人当たりサラダの家計支出額



地域別の一人当たりサラダの家計支出額



資料：総務省「家計調査報告」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。